

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府豊中市走井2丁目9-1	氏名	ヤマトグローバルエクスプレス(株) 関西主管支店 支店長 中谷 秀行
特定事業者の主たる業種		44道路貨物運送業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		クロネコヤマトの主に航空便を扱うグループ会社で、大阪府下で7店の出店を行い、103台の車両を使用し一般貨物輸送を営んでいます。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
平成 26 年 4 月 1 日～	平成 29 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量		
区分	基準年度( 25 )年度	前年度( 28 )年度
温室効果ガス総排出量	1,402 t-CO <sub>2</sub>	1,209 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	1,488 t-CO <sub>2</sub>	1,280 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量	0 t-CO <sub>2</sub>	

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況					
区分		削減目標 (28 年度)	第1年度 (26 年度)	第2年度 (27 年度)	第3年度 (28 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	2 %	12.6 %	14.7 %
		削減率(原単位ベース)	0 %	0 %	0 %
削減率(平準化補正ベース)		— %	0 %	14.4 %	14 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>施設における老朽化した大型空調機の交換が功を奏し、使用電力の削減状態が継続している。車両の代替も順調に行えており、燃費向上による燃料消費の削減が見込める。</p>
--

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

これまでと同様の、関西主管支店CSR課が中心となり各営業所の所長、センター長を筆頭に、年2回の省エネ運動をメインとし、各種研修会を実施、温暖化対策を推進し、目標達成を目指しております。また平成26年に大型空調機の入れ替えを実施し、電力の使用削減を目指し9%近い削減に成功しました。また都市ガス、灯油も削減を図ることが出来ました。平成27年度も同様の削減を目指し空調機の入れ替えを中心に対策を、進めております。

(2) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス(GHG)の排出及び人工排熱の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール(年度)
1	レ	GHG排出	関西主管支店	コード(1111) 推進体制の構築、確認	CSR課を推進部隊と任命しエコドライブの推進と年2回の省エネ運動を中心に活動を進めます。	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				
		平準化				
2	レ	GHG排出	全ての事業所	コード(1111) 推進体制の構築、確認	所長を中心に、省エネ担当を配置し活動を推進してゆきます。	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				
		平準化				
3	レ	GHG排出	関西主管支店	コード(1112) エネルギー使用について管理確認	全ての、エネルギー関係のデータを集約し目標管理してまいります。	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				
		平準化				
4	レ	GHG排出	全ての事業所	コード(1218) 照度管理を進める。	全店のロケーションごとの適切な照度環境の確認を実施してまいります。	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				
		平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス(GHG)の排出及び人工排熱の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール(年度)
1	レ	GHG排出	関西主管支店	コード(2112) 車両別燃費管理	全ての車両の燃費管理をし改善を進める。	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				
2	レ	GHG排出	全ての事業所	コード(2123) エコ運転の推進	新入社員を中心にエコドライブ運転の教育を実施する。	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				
3	レ	GHG排出	大阪北営業所	コード(2125) 車を使わない配達の推進	台車を使用して車を使わない配達の実施を進める	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				
4	レ	GHG排出	大阪西営業所	コード(2126) 車を使わない配達の推進	台車を使用して車を使わない配達の実施を進める	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				
5	レ	GHG排出	全ての事業所	コード(2121) 低燃費車の導入を進める	買い替え時及び新車導入時には、必ず低燃費車もしくは、小型車の導入を進める。	26年度 ～ 28年度
		人工排熱				

---

**(3)**その他の抑制対策
